

発行：環境省屋久島自然保護官事務所  
〒891-4311屋久島町安房2739-343  
TEL:46-2992

屋久島世界遺産センター  
Yakushima World Heritage Conservation Center



屋久島国立公園  
Facebook



## 令和7年度絵画コンクール入賞作品

屋久島町内の小中学生を対象に令和7年度絵画コンクール「未来につなぐたからもの 屋久島・口永良部島の自然」を実施しました。応募総数は昨年を上回る381作品が寄せられました。皆さんの身近に素晴らしい自然があることが分かる大変素敵な作品ばかりでした。たくさんのご応募ありがとうございました！

審査の結果、最優秀賞4点、優秀賞4点、佳作17点が選ばれました。

### 最優秀賞

- |         |       |          |             |
|---------|-------|----------|-------------|
| 1～2年生の部 | 百枝 繪  | (小瀬田小1年) | 「しかとサルとわたし」 |
| 3～4年生の部 | 立神 諒弥 | (一湊小4年)  | 「一湊の海」      |
| 5～6年生の部 | 荒木 悠翔 | (小瀬田小5年) | 「夏の森でひと休み」  |
| 中学生の部   | 川瀬 晏那 | (中央中2年)  | 「夕日」        |

### 優秀賞

- |         |        |          |                   |
|---------|--------|----------|-------------------|
| 1～2年生の部 | 山崎 健伸  | (神山小2年)  | 「青い海でおよぐ ぼくとウミガメ」 |
| 3～4年生の部 | 西 眞秀   | (八幡小4年)  | 「森を写す川」           |
| 5～6年生の部 | 日高 樹子  | (小瀬田小5年) | 「飛べ！！屋久島の宝」       |
| 中学生の部   | 鎌田 こうめ | (岳南中3年)  | 「大川の滝」            |

### 佳作

- |       |          |                  |
|-------|----------|------------------|
| 皆川 陽香 | (宮浦小6年)  | 「満開の山桜」          |
| 苗田 悠樹 | (一湊小5年)  | 「子ガメでつなぐウミガメの未来」 |
| 立神 舞有 | (一湊小6年)  | 「みんなを見守る八笠岳神社」   |
| 梶 彰真  | (永田小2年)  | 「夕日にむかう子がめ」      |
| 吉原 碧紅 | (小瀬田小6年) | 「小瀬田小のツマベニチョウ」   |
| 大島 莉良 | (栗生小6年)  | 「ベンチと夕日」         |
| 小笹 木香 | (八幡小1年)  | 「くちのえらぶ おおこうもり」  |
| 小笹 葵葉 | (八幡小4年)  | 「しかの家」           |
| 日高 詩織 | (神山小5年)  | 「美しい夕日」          |
| 齋藤 優太 | (安房小2年)  | 「屋久島の海の生き物たち」    |
| 坂元 創至 | (安房小3年)  | 「せいぶりんどうのサル」     |
| 日高 寛太 | (安房小4年)  | 「大きな大きな滝之川一枚岩」   |
| 井脇 海愛 | (中央中3年)  | 「森の中で」           |
| 稲次 琉唯 | (岳南中1年)  | 「古代の森へと続くトロッコ道」  |
| 西村 太郎 | (岳南中1年)  | 「きれいな命」          |
| 前田 海璃 | (岳南中3年)  | 「あの川に架かる橋」       |
| 若松 希士 | (安房中3年)  | 「銀河の巡り」          |



「しかとサルとわたし」  
百枝 繪



「一湊の海」  
立神 諒弥



「夏の森でひと休み」  
荒木 悠翔



「夕日」  
川瀬 晏那

## 観光事業者向けの講習会を開催しました



野生動物には絶対に  
エサをやらない・見せない

野生動物への餌やり事例が発生していることを受け、12月18日に、保全を重視した野生動物観光のあり方についての講習会を行いました。旅行者と直接お話をされる機会の多い観光事業者約40名にご参加いただきました。

島全体で力を合わせて普及啓発を強化し、『野生動物への餌やりゼロ』を目指していきましょう！

# 永田浜ラムサール条約登録20周年記念シンポジウムが開催されました

永田浜（いなか浜、前浜、四ツ瀬浜の総称）は、アカウミガメの北太平洋最大の繁殖地であり、5～7月の産卵シーズンには多くのウミガメが産卵のために上陸します（2025年は延べ4000頭を超えるウミガメが上陸）。このように永田浜はウミガメの保護において重要な場所であることから、【ラムサール条約（国際的に重要な湿地及びそこに生育・生息する動植物の保全を目的とした国際条約）】に指定されており、2025年で指定20周年を迎えました。



これを記念して、11月8日に永田小学校で記念シンポジウムが開催されました。約75名が参加したシンポジウムでは、東京大学 佐藤教授からバイオロギングを活用したウミガメの生活史等の調査についての基調講演の他、屋久島でウミガメ調査や保全活動等を行っている各団体からの活動報告を行いました。後半のパネルディスカッションでは「永田浜のこれからを考える」をテーマに、永田浜の課題解決のために、国内外の研究機関等からの協力可能性や、永田浜の保全と永田区の地域振興との両立などを行うための拠点施設整備の必要性などが提案されました。シンポジウムの結果を踏まえ、引き続き永田浜の保全に取り組んでいきたいと思っております。また、3月には20周年イベントとして永田浜の海岸清掃を行う予定ですので、ぜひご参加ください。

## ヤクシカ・人・自然 共生のために － シャープシューティング体制によるヤクシカの計画捕獲 －



環境省では、世界自然遺産地域を含む保護地域内で、生態系管理の一環として、実施計画を作成して順応的に行うヤクシカの「計画捕獲」をすすめています。



シカは警戒心が強く、人や銃やワナが危険なものだと学習すると、捕獲するのが難しくなります。捕獲を続けるためには、「学習ジカ」をつくらないことが重要です。「シャープシューティング」とは、高い技能と専門性をもった捕獲技術者が従事する銃器を用いた捕獲体制の総称です。餌で特定の場所に誘引し、群れの全頭を仕留めることで、「学習ジカ」をつくらず、継続的に捕獲することができます。

単に餌付けと狙撃を組み合わせた捕獲ではなく、動物の行動をコントロールするための専門的な知識と技術、高い技能と判断力、自制心が求められる高度な捕獲手法です。

### 屋久島で行っている捕獲手法（シャープシューティング）

#### ①データを集める

群れの頭数や出没時間などカメラで得られた情報を毎日分析し、餌の量や時間を調整して捕獲に最適な群れの規模・時間に調整する

#### ②シカを慣れさせる

毎日同じ車、同じ人、同じ時間に給餌して、警戒心を限りなく下げる捕獲当日も同じ車を使用する

#### ③群れを確実に仕留める

学習ジカをつくらないために群れの全頭を捕獲  
正確な射撃を短時間で連続して実施できる技術と道具（ライフル）が必要

#### ④狙撃の判断

確実に全頭捕獲できるか一瞬で判断する能力、無理なら撃たないというシカの生態・行動の知識と自制心が求められる



移動型：  
車で移動し射点で狙撃



待機型：  
テント内で待機し狙撃